

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度（令和2年度）	科目名	キャリアデザイン4	
科目基礎情報					
開設学科	AIシステム科	コース名	—	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間		授業形態	講義
教科書/教材	資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員			実務経験の有無・職種		
学習目的					
業界研究・企業研究においては、企業ホームページ、J-Navi、就職支援サイトなどから情報を収集しまとめる。まとめる内容は、基本的な企業情報（財務状況、業務分野、給料、福利厚生など）、就職支援サイトの人事のブログなどから推察される、必要とされる人物像、J-Naviなどの過去の受験情報、みんなの就職活動日記などの、学生視点からの就職活動報告、OB訪問、ヒアリング、その他など。不明点は担当教員やキャリアサポートセンターの職員と相談して内定に向けた努力をすること。					
到達目標					
希望企業から内定をいただく（進路を決定する）ことである。主体的に自己の進路を選択・決定できる能力やしっかりとした勤労観、職業観を身に付け、社会人・職業人として自立していくことができるようにする。また、自分の職業人生を自ら創造するキャリアデザインの重要性を理解して、目的意識を持って残り半年の学生生活を送る姿勢を身につける。同時に社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力の向上をめざす。					
教育方法等					
授業概要	各自が業界研究・企業研究を行い進路決定に向けた努力を行う。業界研究・企業研究では、企業ホームページ、J-Navi、就職支援サイトなどから情報を収集しまとめる。また、『就職活動ノート』を作成し、それに沿って活動状況をチェックし指導する。さらに、朝日新聞の1面コラム「天声人語」を書き写し、時事力、読解力、語彙・文章力、集中力を鍛える。ただし、進路決定者は、卒業制作に取り組むこと。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。各自が就職活動を行い、内定に向けた努力をすること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は成績評価ができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 （口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	60%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（2）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	企業研究		企業ホームページ、J-Navi、就職支援サイトなどから情報を収集しまとめる		
2回	個別企業説明会対策		GCPの環境に依存した状況で、機械学習のアルゴリズムの実装を行う。TensorFlowの実行環境を行う		
3回	個人指導(1)		GCPの環境に依存した状況で、機械学習のアルゴリズムの実装を行う。TensorFlowの実行環境を行う		
4回	個人指導(2)		就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、卒業制作を実施する		
5回	個人指導(3)		就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、卒業制作を実施する		
6回	個人指導(4)		就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、卒業制作を実施する		
7回	個人指導(5)		就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、卒業制作を実施する		
8回	個人指導(6)		就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、卒業制作を実施する		
9回	個人指導(7)		就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、卒業制作を実施する		
10回	個人指導(8)		就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、卒業制作を実施する		
11回	個人指導(9)		就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、卒業制作を実施する		
12回	冬休み中の就職活動に関わる指導		冬休み前のまとめと就職活動を継続する学生に対して注意事項を伝達する		
13回	冬休み中の就職活動報告会(1)		冬休み中の就職活動（内定者は企業の研修など）に関して各自が発表する		
14回	冬休み中の就職活動報告会(2)		冬休み中の就職活動（内定者は企業の研修など）に関して各自が発表する		
15回	企業研究		個別企業説明会に向けて企業研究を行う		